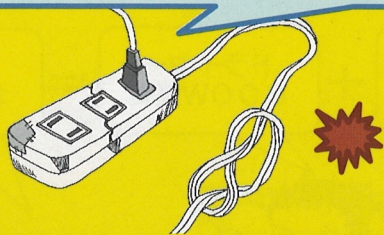


火災原因4

古い電源タップや壊れたものを使用している。



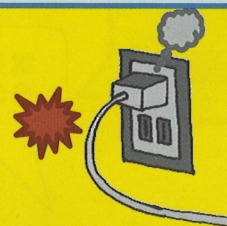
＊経年劣化などで、接触不良を起こすと、抵抗が生じて発熱し、出火する場合があります。



古くなった電源タップは、危険なんだ！
コンセントの周りは、掃除をしないとね。

火災原因5

コンセントと電源プラグの間にほこりが溜まっている。



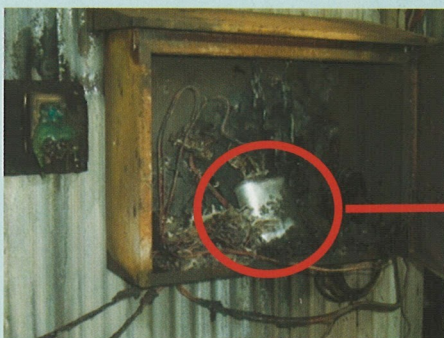
＊溜まったほこりに湿気が加わると、その部分に電気が流れて火花が発生し、出火する場合があります。

**事業所の皆さん
こちらも気を付けてください！**

低圧進相コンデンサの火災に注意！

低圧進相コンデンサとは、工作機械や業務用冷蔵庫などのモーター等で稼働する電気機器に必要な電力の効率をよくするための機器です。主に、店舗や作業所の配電盤に設置されています。

低圧進相コンデンサは、長年使用しているうちに内部の劣化が進み、絶縁破壊した場合は金属容器または樹脂容器が破裂し、火災に至ります。



破裂した低圧進相コンデンサ

低圧進相コンデンサの火災は、夏場に多く発生しています。気温の上昇とともに、コンデンサ本体の温度が上昇し、絶縁劣化が進むことが理由と考えられます。

1975年（昭和50年）以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置が内蔵されていないため、出火の危険性が高くなります。すぐに、保安装置の付いた新しいものへ交換してください。

また、設置から10年以上経過しているものは、早めに交換又は専門業者の点検を受けましょう。

火災予防のお問合せは、南消防署まで！
（電話番号）075-681-0711

発行 京都市南消防署
京都市印刷物第030005号